point 2

学びが主体的になる

製作・実習や体験など多様な活動があり、頭と体を使って学べるのが、家庭分野の面白いところ。

開隆堂の教科書では、その家庭分野の面白さを、より感じてもらい、 主体的に行えるよう、題材や紙面に工夫をこらしています。

その特徴は

- 1 生徒の興味・関心からはじまる学習
- 2 家庭でも取り組みたくなる調理実習例
- 3 普段から使いたくなる魅力的な製作実習例
- 4 授業が毎時間アクティブに展開できる
- 5 学んだことをすぐに生活にいかせる



生徒の興味・関心からはじまる学習

授業の導入で学習の動機づけができるよう、さまざまな工夫をしています。「ガイダンス」 は家庭分野のはじめに、「わたしの興味・関心」は学習のまとまりのはじめに、導入課題は毎時間ごとのはじめに、小さな課題を配置して、学習する意欲を喚起します。

ガイダンス

ガイダンスでは、全体の学習を概観する内容や学び方を示し、3年間の学習のイメージをもつことができます。



わたしの 興味・関心 それぞれの学習内容のはじまりには、 学習をはじめる前と後に興味・関心を 記入する欄を設けています。学習前後 の生徒の変容がみとれます。



実物大の食品です。 食品の概量を知る 手助けになります。

実物大の手足をみて, 自分の成長をふり返る ことができます。 0歳, 6歳の 手形と自分の手を くらべてみよう



アクティブ・ラーニング はじめの一歩

「能動的な学習」を意味するアクティブ・ラーニング。生徒がすすんで学習をすることを促すためには、教えたい内容を生徒自らが発見できるよう、導くことが大切です。それは、これから学ぶ未知の知識への関心であったり、今まで自明のことであったことでも確信がもてなくなりもう一度考え直すきっかけであったりします。それらのすべてがスイッチとなり、能動的に学べるようになります。

自分自身の生活を みつめることがすべての 学びの出発点です。



衣服についたディが落ちなかったことはありませんか? それはどのような汚れでしたか?

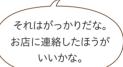
どろ 絵の具 カレー



✓ 登校前に,ワイシャツに コーヒーをこぼしたときは 集ったなあ。

導入課題

身の回りのことをもとにした課題 です。学習にいざなうきっかけとな り、意欲的に学習に取り組めます。 クリームドーナッツを買って家で食べたら、いつまでたっても クリームが出てこないので、割ってみるとクリームが入ってなかった! あなたならどうしますか。









献立学習は 2ステップ

今回の学習指導要領で重視される「献立づくり」は2回に分けて、 扱います。 食生活の学習を一通り 経た後で、献立について、 一段レベルの高い課題に 取り組めます。





家庭でも取り組みたくなる 調理実習例

調理実習のページは、すっきりとしたわかりやすいレイアウトとともに、「おいしそう!! 「つくってみたい!」と感じるできあがり写真を掲載して、意欲をもって取り組めるように しています。

材料と分量

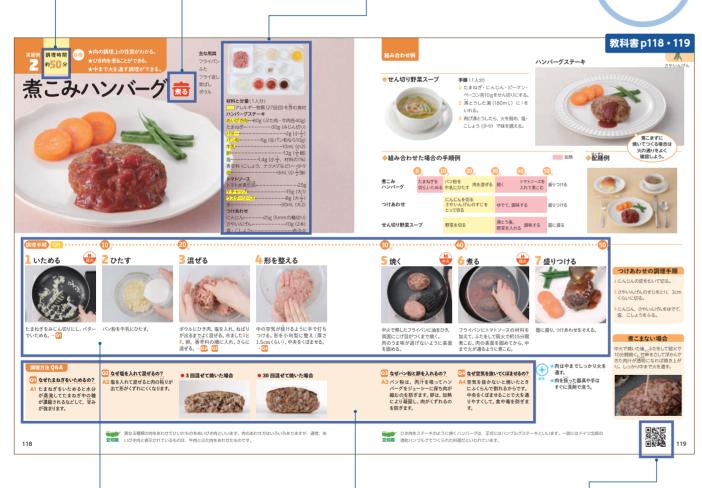
所要時間 所要時間の

めやすも記載しています

調理アイコン

調理の手法を アイコンで明確にしています 一人分の材料と分量がひとめでわかるように 写真で示すとともに、アレルギー物質を含む 食材には色を伏して注意をうながしています。

基本 フォーマット



調理手順

調理の手順は, 横流れですべて 写真で示しています。

調理方法 Q&A

新しく設定した「調理方法Q&A」では、 手順にある「塩を入れ混ぜる」などの科 学的根拠を具体的に掲載しています。

QR ⊐ − **F**

QRコードでも手順を示し ています。授業の前後の家 庭実践もしやすくなってい ます。

科学的理解が主体性をうながす

実習にすすんで取り組むためには、「なぜこうするのか」とい う科学的な視点も欠かせません。調理手順でも、そうする理由 が示されていれば、生徒は自ら、どこに注意するべきか理解し、 調理を進めることができます。調理手順を時間ごとに写真で示し ていることも、見通しをもてる効果があり、生徒はあとどのくら いでできあがるのか意識して、集中して調理に取り組むことがで きます。

1品料理から 献立までつくってみたく なる調理例が満載です。



豊富な 実習例











基礎技能頁も

蒸し調理も

簡単に



充実





他にも実習例に加える 副菜・汁物の調理例を 数多く掲載しています。

充実しています。



調理実習例 (教科書の掲載ページを示しています)

1 しょうが焼き 116

10 蒸し野菜のサラダ 132 11 青菜の卵とじ 133

2 煮こみハンバーグ 118 3 牛丼 120

12 筑前煮 134

4 シチュー 121

13 ミネストローネ 135 14 あと1品 136

5 者角 124 6 ムニエル 126

15 おやつやデザート 138

7 焼き魚 127 8 つみれ汁 128 16 雑煮 144

9 かば焼き 129

17 手打ちうどん 145





15

普段から使いたくなる 魅力的な製作実習例

製作例は地域・学校や先生の事情、生徒の興味・関心に応じて選べるように、平易な ものから難度の高いものまで、多種多様な例を掲載しています。ただつくるのではなく、 何のためにそれらをつくるのか意識することでより豊かな生活の創造につながります。

活用感の ある写真

学習した後の活用場面をイメージでき るよう, 製作例は実際に生活の中で使 われているカットを掲載しています。



はかなくなった ジーンズを リメイクしたよ





製作した

非常持ち出し袋を

早速使っているよ



ファイルカバー

ブックカバー

診察カード入れ

道具入れ

性のある 製作例

イメージ写真からは、製作の 必要性もみえてきます。



リバーシブルバッグ



クッションカバー

今回の学習指導要領では「不 用なもの」を活用した製作が 求められています。リメイクを しても、実際に活用されなけ れば意味がありません。教科 書では、リバーシブルバッグ、 クッションの活用場面を掲載 し、普段使いしたくなるよう 工夫しています。

めあてに向かってねばり強く

生徒は強制されていると感じると、力を発揮できません。ねば り強く取り組む必要がある製作などではなおさら、やる気の持続 が大切になります。生徒が主体的に取り組むために効果的なの が, 目標づくりです。教科書に掲載された, めあてを参考に, 自分ならばどのように活用するか、目標を立てさせることで、自 らの選択で製作をしているのだという意識をもつことができます。

技能レベルや 製作時間なども 幅広く選択できます。



変身グッズで 幼児のテンションも



基本 フォーマット

製作のめあてが明確

各製作例には, その題材 でのめあてを明確に記載 しています。

製作手順はイラストを用 いてわかりやすく示してい ます。

知識・技能を 6ページにわたって

製作に必要な

→ 2 面ファスナーを縫う

まとめています

基礎・基本

製作実習例

- 1 ファイルカバー 188
- 2 ブックカバー 189
- 3 診察カード入れ 189
- 4 非常持ち出し袋 190
- 5 道具入れ 191
- 6 ハーフパンツ 192
- 7 ごっこ遊び道具 193
- 8 リバーシブルバッグ 194
- 9 クッションカバー 195

(教科書の掲載ページを示しています)







授業が毎時間 アクティブに展開できる

調理や製作の他にも、実習・実験題材や、教室内でのグループ・ディスカッション、ディ ベート、グループワークなど、毎時間アクティブ・ラーニングが展開できるように、充実 させました。

臨場感ある

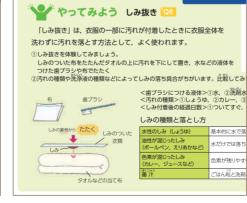
ふれ合い体験の準備から、実習、ふり返りまで、 一連の流れで示したページで、実習のイメージ を明確にもつことができます。



実験も 豊富

実験・観察などの体験を通して, 学習の理解が深まります。 実験の手順・結果はQRコンテン ツからも確認できます。





教科書p175

アクティブ・ラーニングの学習技能

アクティブ・ラーニングで必要となる学習技能には、①比較をして違 いを発見できる。②原因を予想できる。③調べ学習ができる。④情報を 整理することができる。⑤自分の考えを書くことができる。⑥グループ で話し合いができる、⑦クラス全体で討論ができる…などがありますが、 教科書ではそれらの技能を用いた課題を「話し合ってみよう」「やってみ よう」「考えてみよう」「発表しよう」の4つに分類しています。講義型 の授業の場合もアクティブ・ラーニングを取り入れていくことができます。



教科書 p242



各ページに設けたれた「話し 合ってみよう」「やってみよう」 「考えてみよう」「発表しよう」 は、アクティブ・ラーニング の学習活動に即した課題です。

教科書p109

つくり方

🍑 やってみよう

○目で見て ○舌で味わって

⑥こんぶとかつおぶしのだし汁(混合だし)

材料と分量(1人分)

直前にこんぶを取り出す。

ぶしを入れて, ふたたび

沸とうしたら火を止める。

うわずみをこし器でこす。

だし汁の味を比較してみましょう



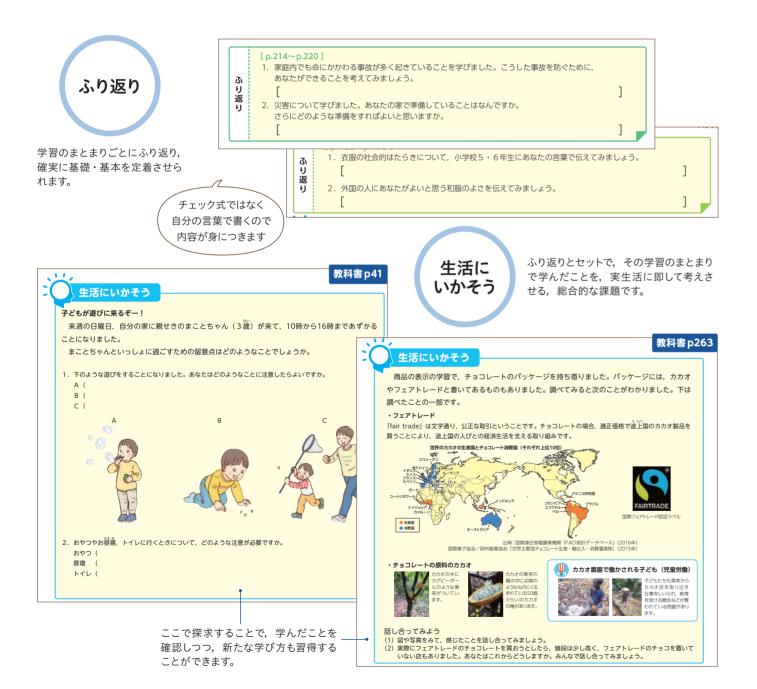


①こんぶのだし汁の手順2のあと、沸とうしたら②かつおぶしのだし汁の手順1からつくる。

20

学んだことを すぐに生活にいかせる

家庭分野は「生活を見つめ、学んだことを生活にいかす」ことを目標にしています。 教科書では、学習内容の活用課題である「生活にいかそう」で知識・技能を適用する力 を養いつつ、「生活の課題と実践」で、自ら課題を発見し実践できるようにしています。



"生活にいかす"は「イ」に対応

新学習指導要領は各内容の各項目が、指導事項「ア」と「イ」 で構成されており、基礎的・基本的な知識・技能の習得である 「ア」で習得した知識や技能を活用して思考力・判断力・表現力 等を育成するのが「イ」です。この「イ」に対応する内容として、 学習のまとまりごとにその学習の総まとめ的な活用課題「生活に いかそう」を設定しています。

生活にいかそうは18例。 生活の課題と実践は12例. 用意しています。



主体的になる 学びが



